

こんなところにとらぶるの芽 (No.36)

～ちょっと気になる消費生活情報をお届けします～



ペット保険に加入したのに保険金が支払われない!

ペットは愛玩動物から、家族の一員としてともに生きるコンパニオンアニマル（伴侶動物）という存在になっています。ペットに十分な医療を受けさせたいとペット保険も一般的なサービスになりつつあります。その一方で「保険金が支払われなかった」等のトラブルも発生しています。ペットショップや動物病院からの紹介という理由で商品を決めることもあるようですが、トラブルを防ぐには加入前に商品の内容を理解しておくことが大切です。

■ペット保険ってどんな保険?

ペット保険は、ペットが病気やケガをした場合にかかった治療費を補償する保険です。

- 対象のペット…ほとんどの商品は犬と猫が対象ですが、他の動物を対象に取り扱う商品もあります。商品によって加入できる年齢や既往症などの加入要件が異なります。
- 治療費………時間外診療費や治療目的でない検査は補償対象外であるなど、対象となる費用も商品により異なります。また商品自体が入院、手術だけに補償を絞っている場合もあります。加入前に対象となる費用の確認が必要です。
- 補償(保険金)…商品によって治療費に対する補償割合(50%、70%、100%など)が異なります。1日の支払限度額、年間支払限度額、支払限度日数なども別に定められているので、1回の補償割合の高さだけで決めずに、希望する補償の形を選ぶようにしましょう。

■ペット保険はどんな会社がやっているの?

ペット保険を扱えるのは、金融庁の免許を受けている保険会社か、金融庁に登録をした少額短期保険業者のいずれかです。免許もしくは登録のある業者かどうかを確認しましょう。金融庁のホームページで事業者一覧が確認できます。

→金融庁：保険について(保険会社等一覧)

<http://www.fsa.go.jp/user/hoken.html>

■保険金が支払われないのはどんな時?

保険金が支払われない(免責)事由は約款、重要事項説明書に記載があります。加入前に理解しておくことが重要です。申し込む前に必ず読みましょう。

飼い主の故意・責任によるもの、自然災害等によるもの、保険期間前に既に発病していた場合、告知義務違反などが免責となるのは人に対する医療保険と似ているところです。

ここではペット保険で特に注意が必要な例をあげます。

○遺伝性・先天性疾患

- ・股関節形成不全 など

○予防可能な疾病

- ・ワクチンを接種することで予防可能な病気

例 犬…ジステンバーウイルス感染症、パルボウイルス感染症、コロナウイルス感染症 など

猫…汎白血球減少症、猫カリシウイルス感染症、猫ウイルス性鼻気管炎 など

○ケガ・病気にあたらないのもの

- ・去勢手術、避妊手術、妊娠、出産、流産、帝王切開



- ・断耳および断尾、爪切り、耳掃除、肛門腺しぼり
- ・臍ヘルニア、そけいヘルニア、停留睾丸 など



○予防のための医療

- ・ワクチン予防接種、マイクロチップ埋込、フィラリア、ノミ・ダニ等の駆除薬 など

その他にも免責事由は商品ごとに定められています。約款等で確認しましょう。例えば先天性疾患を例にとると、すべて免責なのか、疾患発見が保険開始後であれば補償すると記載してあるかは補償内容が違います。また、免責にあたると思われる場合、ノミ・ダニ駆除薬が疾病治療として使われた場合や緊急性のある帝王切開など、状況により保険金が支払われるとしている商品もあります。記載内容に疑問があれば保険会社に確認しましょう。

■保険期間は一年間？

ペット保険の保険期間は通常 1 年間ですが、初回加入時は「待機期間」が設けられている場合があります。保険期間中であっても待機期間内の発症は補償されません。待機期間の有無や日数は商品により設定が異なるので確認しましょう。

■請求方法は？

請求方法も保険会社によって異なります。商品を選択するうえでのポイントになるでしょう。

○動物病院に一旦全額を支払い、後日、自分で保険会社に請求する方法。

請求期限、診断書の作成が必要か、診療明細の提出ですむのかなど必要書類を確認しましょう。

○診察時に動物病院の会計窓口で、保険金との差額を支払う方法。

保険会社と提携している病院のみ扱える方法です。かかりつけ医がある場合は提携病院かどうか確認しましょう。

■自分が求める保険の形を明確にしよう

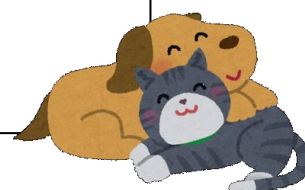
ペットの平均寿命は延びています※1。また東京都が行ったアンケート調査では、ペットの年間医療費は犬が「3万円～6万円未満」、猫が「1万円～3万円未満」が最も多い回答でした※2。

ペットには人のような公的健康保険はありません。手術や入院などの場合は診療費が高額になりがちです。ペット保険を人の公的健康保険のように毎回の治療費を軽減するために利用したいか、診療費が高額になった時の備えとして加入したいかで商品の選択は違ってきます。自分が求める保険の形をはっきりさせ、保険料や補償内容などを総合的に検討することが大切です。



ここに気を付けよう！

- ・免許、登録のある事業者かどうかを確認する。
- ・約款、重要事項説明書を読み、内容を理解して加入する。
- ・疑問、不安に思ったらすぐに最寄りの消費生活センターに相談する



※1 一般社団法人ペットフード協会 平成 25 年度 全国犬・猫飼育実態調査

<http://www.petfood.or.jp/topics/img/140101.pdf>

※2 東京都における犬及び猫の飼育実態調査の概要(平成 23 年度) 東京都福祉保健局

http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/kankyo/aigo/horeishiryousiryous.files/23tyousa_gaiyou.pdf